

ぼくと私の防災のまち (その⑥)

◆品川区防災センターに行ってきました◆

『さんかく隊』では、防災まちづくりの必要性や重要性をお伝えしてまいりました。地震や災害はいつおこるか正確には予測ができないものです。また、日常生活からかけ離れたものとして、軽視してしまいがちです。今回は、自主的な活動として、地震疑似体験ができる品川区防災センターを取材して来ましたので、お知らせします。(女ヶ澤幸子広報部長、八楯祐子広報部員取材)

同センターには、地震の疑似体験映画(品川シアター)があります。

～ある日の昼食の仕度がはじまるころ、平和な生活に地震が起こりました。マンションの一室、道路、商店、学校の状況は激変しました…。

この地震疑似体験では、「地震」によって座席が振動し、来場者は3次元眼鏡をかけて見ることに、割れたガラスが目の前に飛んでくるように感じるなど、臨場感あふれる体験ができます。



品川シアターは、企業の団体研修や学校の社会見学でも利用されているそうです。



シアターの外では、まちの地震危険度がわかりやすく紹介されています。

いざという時の心構えや、どのようなまちづくりが必要か、身を守るためにはどのような備えが必要か、この疑似体験映画を見て学ぶことがたくさんありました。

地震に対する備えをするために事前に地震を実際に体験することは不可能です。しかし、体験できないが故に、関心や緊迫感も持つことができないのではないのでしょうか。地震の怖さと日々の主体的な防災意識を高めていくことが大切であると実感しました。

同センター内では、さらに消火器による消火訓練も指導してもらえます。皆さんも是非、体験してみてください。場所はJ R大井町駅下車徒歩8分(品川区役所そば)、入場無料(土日祝は休み)です(品川シアター:電話 5742-9098)。

皆さんからも防災まちづくりについて日頃感じたこと、考えたことをお聞かせ下さい。

編集後記

今回、東蒲田、大森中、北糀谷、西糀谷の4地区で実施した学習会では、災害シミュレーションにより、仮に地震が起きた時、その地区がどんな状態になるかを動画で見ました。限られた時間の中で十分ではないと思いますが、自分の地区でも地震が起きた時の状態が一部想像出来たと思います。

(運営委員 大谷 文雄)

大森中・蒲田・糀谷地区 防災まちづくりの会 構成団体	
左記の団体からの代表と公募住民の56名の会員で活動しています。	
川端自治会	東蒲田二丁目南町会
大森山谷自治会	南蒲田一丁目自治会
大森町自治会	南蒲田二丁目町内会
新宿町会	南蒲田三丁目町会
大森中八幡自治会	新宿東町会
大森堀之内自治会	
北糀谷一・二丁目町会	大森第一小学校PTA
西糀谷一丁目町会	北糀谷小学校PTA
西糀谷二丁目町会	糀谷小学校PTA
西糀谷三丁目町会	東蒲田小学校PTA
西糀谷四丁目町会	南蒲田小学校PTA
大島居中央町会	大森東中学校PTA
東蒲田一丁目自治会	糀谷中学校PTA
東蒲田二丁目町会	公募住民



大森中・蒲田・糀谷地区 防災まちづくりニュース No16

平成18年3月

大森中地区 防災生活圏促進事業

編集:大森中・蒲田・糀谷地区防災まちづくりの会「さんかく隊」

発行:大田区 まちづくり推進部 都市開発課 TEL.5744-1338

北糀谷中央公園をご利用ください

◆公園が拡張整備されました◆

北糀谷小学校の南東にある北糀谷中央公園が昨年末に拡張されましたのでお知らせします。

拡張にあたっては、一昨年の秋より区が「公園づくり懇談会」を開催し、周辺にお住まいの方や『さんかく隊(大森中・蒲田・糀谷地区防災まちづくりの会)』とともに、日常時や災害時の使い方や、整備の方向性を話し合ってきました。

区では懇談会での意見を踏まえながら、昨秋より整備工事を行いました。

公園は整備工事によって既存の部分と一体的になりました。拡張部分では、かつて利用されていた井戸が復活し、子どもたちに人気です。また、下水管に仮設のトイレを直接つなげられるようにマンホールが設置され、災害時にも活用できるよう配慮がされています。



さらに、今回の拡張整備の完成にあたり、公園の名称が「北糀谷一丁目第二公園」から「北糀谷中央公園」に改められ、周辺の皆さんが親しみを持つことができる名前となりました。新しい園名板も設置され、先日周辺の皆さんで開園式も行われたそうです。皆さんも遊びに行ってみてはいかがでしょうか。

(事務局(写真は広報部撮影))

ごあいさつ 「防災力を高めよう ～地震や災害へ万全の備えを～」

副会長 岡田 延次

「我がまちを守ろう」の意識が盛り上がり、地域住民の活動源として、『さんかく隊』は7年目を迎えました。活動の内容も、行政の指導型から私達住民の人々主体の方向に成長して参りました。安心・安全な防災まちづくりを地域の皆さんとともに生み出す当会の進展を肌で感じ、頼もしく思うのでございます。

さて「我がまち」を守るためには、何をどうすればよいのか?今回は、出前型や呼びかけ型で実施した学習会を行い(中面参照)、我がまちの防災まちづくりの効果的対策や、災害シミュレーションの活用による実践的な学習を行いました。災害には、自らが行動できる予防対策を作り上げておくことが重要です。今からでも遅くはありません。今すぐにも実行いたしましょう。

地域の連帯と絆を一層強めて、深めて、逃げなくても住めるまちづくりを目指して、皆様と一緒にがんばっていききたいと思います。

「防災まちづくり学習会」はいかがでしたか？

◆ 4 地区で開催しました ◆

『さんかく隊』では、前号でもお知らせしたとおり、地区にお住まいの皆さんを対象に「防災まちづくり学習会」を実施しました。町会役員会や合同防災訓練などのまちの活動の場へお伺いする「出前型」や、会で機会を設けて参加を促す「呼びかけ型」により開催し、234名にご参加いただきました。

学習会では、各地域で大地震が起こった時のシミュレーション映像をご覧いただき、地域の弱点を知っていただきながら、逃げなくて済む安全なまちにするためのまちのルールづくりの必要性を提案しました。会では、参加いただいた方からのご意見、ご感想などをもとに、今後さらに協議し、「安全なまちづくり」の提案や情報を発信していきたいと思ひます。(広報部)



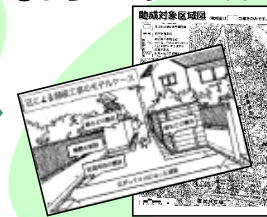
お伝えした内容！

①災害シミュレーション



大地震の際の各地区の様子を紹介しました

②まちづくりのアイデア



身近な取り組みや区の助成を紹介しました

③ルールによるまちづくり



区のパフレットを紹介しました

町会役員会へおじゃましました

1月23日 in 北嵯谷地区

北嵯谷地区では、出前型として、北嵯谷一・二丁目町会の役員会へ来られた33名の皆さんが学習されました。



図書館に集まっていたきました

10月28日 in 東蒲田地区

東蒲田地区では、地区の皆さんに呼びかけ、蒲田図書館に53名の皆さんにお越しいただきました。

★学習会をふりかえって

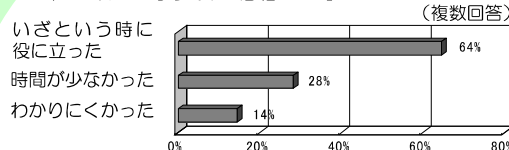
今回は時間が短い学習会でしたが、皆さんの災害に対する関心が多く感じられました。

東蒲田地区で想定した災害シミュレーションにより、わたしたちのまちと言う感覚をもって危険と感じた方が多く、「自分の家が古くてどうしたら良いのか?」、「耐震診断の依頼はどこへしたら良いのか?」などの意見が出て、学習会を通じて地域の方々との交流ができたようです。

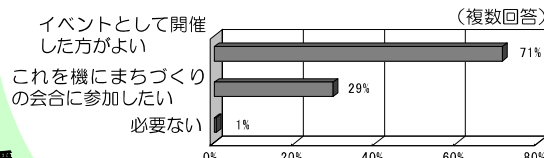
また、参加者の4分の3の方々がこの会を知っていて、これからもまちの人々と活動をつづけていきたいと感じました。今後とも、防災まちづくりにご参加、ご協力をお願い申し上げます。(副会長 濱田勝廣)

参加者の皆さんに尋ねました！

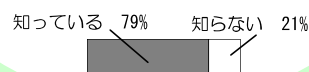
◆「今日の学習会の感想は？」



◆「これから？」



◆「さんかく隊」を？」



♪参加者からの主なご意見

私たちのまちでは広い工場は引越しが終わり、跡地には新しい建て売り住宅がどんどん建ち、購入した人はローンを抱えていると思います。まちづくりのルールはこうした人々のことも考える必要があります。

★学習会をふりかえって

指田町会長始め役員の方々のご協力により、短時間ではありましたが充実した会だったと思料します。災害シミュレーションには、是非一般の町会員にも参加して頂ければ災害時に役立つと思われます。又、その他行政の方針もお伺いし、参考になるかと考えます。(運営委員 増井静男)

防災訓練におじゃましました

11月27日 in 大森中地区

大森中地区では、本宿町会、大森中八幡自治会、大森堀之内自治会の合同防災訓練へ出前し、周辺の方々にもおいでいただき、79名の皆さんが学習されました。



♪参加者からの主なご意見

災害シミュレーションでは、自分の住む場所が含まれていなかったのに関心が高くなった方もいました。家屋の倒壊や火の手の上がり方、避難しているところなど実際の被害の様子を見せると良かったです。

防災まちづくりにあたって、道幅が狭いところで建て替えの際に道を広げるとしても、小さな土地の方は難しいと思ひました。

(運営委員 清水幸助とりまとめ)



町会役員会に合わせて集まって

いただきました 2月17日 in 西嵯谷地区

西嵯谷地区では、西嵯谷二丁目町会の役員会へ出前し、ご近所の方々にもおいでいただき、69名の皆さんが学習されました。



♪参加者からの主なご意見

今日は参加して大変参考になりました。このような学習会は大田区の全住民に実施すべきであると思ひます。

★学習会をふりかえって

西嵯谷地区では、北嵯谷地区で想定したシミュレーションを使用して学習会を行いました。参加人数も多く防災に対する意識の高さを感じました。こんどは、西嵯谷を中心としたシミュレーションを見たいと思ひます。(運営委員 中島正美)